

## 第一稿，第二稿に対するコメント，質問（6月28日）

### 1．流域の概要

### 2．現状の課題

#### 2.1 河川環境

##### 2.1.1 河川形状

##### 2.1.2 水位

##### 2.1.3 水量

##### 2.1.4 水質

##### 2.1.5 土砂

江頭 「河床材料の変化」を改め「河床材料の粗粒化や流路の固定化」

##### 2.1.6 生態系

##### 2.1.7 景観

##### 2.1.8 生物の生息・生育環境に配慮した工事の施工

#### 2.2 治水・防災

江頭

既存の計画にとらわれない計画には賛成であるが，昭和46年工事実施基本計画および昭和47年からの琵琶湖をベースとして推進されてきた治水・利水対策の評価をもっと積極的にしても良いのではないか。

##### 2.2.1 洪水

###### (1) 沿革

###### (2) 課題

##### 2.2.2 高潮

##### 2.2.3 地震・津波

#### 2.3 利水

#### 2.4 利用

##### 2.4.1 水面

##### 2.4.2 河川敷

##### 2.4.3 舟運

##### 2.4.4 漁業

#### 2.5 維持管理

#### 2.6 ダム

江頭

ダムの効用と弊害については記述されているが，流域におけるダムの歴史と役割を挿入してほしい。

##### 2.6.1 既設ダム

#### 2.7 関連施策

##### 2.7.1 淀川河川公園

### 3．河川整備の基本的考え方

江頭

自然，社会，文化的条件を背景として，治水・利水・環境からなる3つの条件をいかに満たしながら，流域を含めた諸河川をどのように整備し，どのように管理するのか，もっと強い姿勢を前

面に出して頂きたい。

#### 4. 河川整備の方針

##### 4.1 計画策定実施のあり方

###### 4.1.1 対象範囲

###### 4.1.2 対象期間

###### 4.1.3 情報の共有と公開・・・

##### 4.2 河川環境

江頭 「文章が長すぎる」

###### 4.2.1 河川形状

###### 4.2.2 水位

###### 4.2.3 水量

###### 4.2.4 水質

###### 4.2.5 土砂

###### 4.2.6 生態系

###### 4.2.7 景観

###### 4.2.8 生物の生息・生育環境に配慮した工事の施工

江頭 質問；「河川の縦・横断形状が不連続とならないように施工する」とはどんなこと？

##### 4.3 治水・防災

###### 4.3.1 洪水

###### (1) 破堤による被害の回避・軽減

###### 1) 日頃から備える

###### 2) 洪水時の対応

###### 3) 流域で水を貯める

###### 流域内対策

###### 排水機場運用

###### 4) 堤防強化対策

###### 高規格堤防

###### 堤防補強

###### < 緊急堤防補強区間の選定 >

###### (2) 浸水被害の軽減

###### 1) 狭窄部上流の浸水被害の解消

###### 2) 琵琶湖沿岸の浸水被害の軽減

###### (3) 一連区間整備の完成等

###### (4) 土砂対策

江頭

異常時の土砂管理（土砂災害対策，河川に対する異常な土砂流出のインパクト）と平年時の土砂管理の違いを明確にして記述した方がよい。 流域土砂管理の重要性をもっと前面に出して頂きたい。

###### 4.3.2 高潮

###### 4.3.3 地震・津波

###### (1) 地震

###### (2) 津波

#### 4.4 利水

#### 4.5 利用

##### 4.5.1 水面

##### 4.5.2 河川敷

##### 4.5.3 舟運

##### 4.5.4 漁業

#### 4.6 維持管理

##### (1) 河川管理施設の機能保持

###### 1) 堤防・護岸

###### 2) 堤防・護岸以外の河川管理施設

##### (2) 許可工作物(橋梁・樋門等)

##### (3) 河川区域の管理

###### 1) 樹木の伐採と管理

###### 2) 河道内土砂堆積等の管理

###### 3) 安全利用のための対策

###### 4) 河川内ゴミの処理及び不法投棄の防止対策

#### 4.7 ダム

##### 4.7.1 ダム計画の方針

###### 江頭

治水・利水・環境面から水資源の現状を評価し、それに対するダムの役割を明記する必要がある。その上で、ダム以外に対策がない場合に・・・実施する。とした方がよいのではないか？

##### 4.7.2 既設ダム

##### 4.7.3 事業中の各ダムの方針

#### 4.8 関連施策

### 5. 具体的な整備内容

#### 5.1 河川整備計画策定・推進

##### 5.1.1 河川整備計画の進捗を点検し、見直しを行うための措置

##### 5.1.2 情報の共有と公開、住民との連携・協働、関係団体・自治体・他省庁との連携

#### 5.2 河川環境

###### 江頭

洪水の擾乱、瀬切れ解消、および土砂移動の連続性の回復による河川環境を改善するためには、これまで以上に水が必要になることは明らかである。このようなことを真に議論するためには、洪水を含めて、流域全体の豊水・平水・渇水流量の実態を把握する、すなわち、淀川流域の水資源の実力を十分に把握し、かつ、環境保全に必要な流量の変動、および変動周期、流量の下限値などの環境流量に関する議論が必要である。

##### 5.2.1 河川形状

###### 森下委員(5.2.1(2))

自然環境のことを前面に出したにしては、いずれもが人が考える自然で、これでは生物の生息は期待できません。

移行帯のとらえ方で間違っはいけないのは、ただらと同じ勾配であることで、これが全くナンセンスであり、凸凹のアクセントがつけられる技術的な検討がある。当然、その底質は一様でないことに意味がある。

## たまりやワンドについての検討事項

基本的な考え方はくずれやすい自然護岸がどこかにあること。

底質については生物の側から検討すること。

どれくらいの頻度で冠水するかが知りたいところ。

水際移行帯の保全・再生で重要なことは、移行帯に裸地と植生とがあること。植生がヨシだけの単一になると種の多様性は失われる。

護岸がコンクリートであれば生態学的な移行帯とはいわない。連続したコンクリートの護岸になると、変態する水生昆虫などの生息場が著しく失われる。

緩傾斜は人にとっては近づきやすいが、魚にとっては腹部から波の影響を受けて生息しにくい。とくに稚魚は。淀川のように川幅の広いところは、護岸の残面に土砂がたまればこのことは緩和されるが、船の行き来が多い瀬田川のような水深も流れも均一なところでは、ベントスや魚類にとっての移行帯はほとんど利用できない。緩傾斜護岸は人の為であり、生物環境としては最も劣る（日本の溪流河川の自然界にはない形状）ことを認識することである。水路などで生物多様性が失われてきたのは、台形型の横断面が連続していることが原因である。

水辺移行帯を求めるのであれば、川幅が大きいところでは護岸の前面に土砂が堆積するような構造にするか、または中洲（淀川や木津川では）が形成するようにすれば緩傾斜でなくてもよい。運河では自然の生物相はのぞめず、どこの国でも外来種の移動の経路になっている。

家棟川でのモニタリングは、どうなったら効果があったと評価できるかを科学的につめた上で行う。種類数の経年変化からは何もわからない。ばらばらに種が増減するのではなく、そこに生息するはずのものがどのような定着のしかたで存在し、生物間の共生関係が形成されていくかが重要である。

### 江頭

（２）縦断方向の河川形状の修復：河川形状の修復ではなく、単に、生物の遡上・降下を確保するための横断構造物の修復ですよね。したがって、（２）縦断方向の不連続に伴う弊害の改善としては？

5.2.2 水位

5.2.3 水量

5.2.4 水質

5.2.5 土砂

### 江頭

山地から河口に至る区間において、好ましい土砂環境を創生するための流砂コントロールのあり方を検討することが重要である。異常出水に伴う大量の土砂流出制御（土砂災害防止）、通常の出水を含む平時の流出土砂のコントロールによって、いかに好ましい河川の物理環境を創生していくか・・・

5.2.6 生態系

5.2.7 景観

5.2.8 生物の生息・生育環境に配慮した工事の施工

畚野委員 (5.2.8)

土砂管理の内、3) 砂利採取に含まれる各項について

#### 5.2.8 土砂仮置き場を堤内地に確保

##### (堤外地の)土砂仮置き箇所・面積の縮小

土砂を堤外地に仮置きすることは治水・環境の両面から好ましくない。したがって今後、堤内地に場所替えすることの必要性は理解できます。

しかし 必要面積が十分確保できるのか

一箇所集中は周辺堤内地の環境を劣化させないか? 等の問題点を十分検討

したのち、出来るだけ速やかに実施。

### 5.3 治水・防災

#### 5.3.1 洪水

##### (1)破堤による被害の回避・軽減

江頭

ハード対策の実施にあたり、河川環境を改悪しない、例えば、生態機能に優れた護岸・・・という一文があった方がよいのでは。

- 1) 日頃から備える
- 2) 洪水時の対応
- 3) 流域で水を貯める
- 4) 堤防強化対策

尾藤委員 (5.3.1(1) 1) ~ 3)

[治水・防災]のうち、担当範囲 5.3.1の(1)破堤による被害の回避・軽減 1)~3)を中心に述べます。

この部分は第2稿で大幅に改訂され、第1稿の「洪水被害ポテンシャル低減対策協議会(仮称)」を改称した「水害に強い地域づくり協議会(仮称)」が、1)日頃から備える、2)洪水時の対応、3)流域で水を貯める、の3本柱ごとに、「情報提供」など計17項目を検討・実施することになっています。

しかし、全体は第1稿より詳しくなっていますが、治水・防災をめぐり、直ちにやらなければならないものと、長い時間をかけて取り組まなければならないものが混在する形になっています。

そこで(A)短期的検討実施項目と(B)長期的検討実施項目に分けた整備計画にする方がよいのではないのでしょうか。

Aは1)日頃から備えるのを除く全て、2)洪水時の対応の ~ まで全て

Bは1)日頃から備えるの 土地利用の規制・誘導、建築物耐水化、3)流域で水を貯めるの 流域内保水機能、貯留機能について検討する、排水機場運用の検討の全て

でしょうか。(Bのうち1)の 建築物耐水化と3)の 排水機場運用はAの方にしてもよい)。

さらに、実施主体もAを河川管理者、Bを「水害に強い地域づくり協議会(仮称)」としてはどうか、と考えます。

[理由]

Aは今回の提言があろうとなかろうと河川管理者がやらねばならない緊急課題です。一方、Bは提言が打ち出している「これまでの治水を目的とした整備の進め方では本来の意図に反して被害の潜在ポテンシャルを増大させている」など新たな治水の理念と課題を受けて実施するもので

あり、今後は流域全体の総合的な対策がどうしても必要だという観点をはっきりと分かる形の整備計画にしたいと思います。

## (2) 浸水被害の軽減

1) 狭窄部上流の浸水被害の解消

2) 琵琶湖沿岸の浸水被害の軽減

## (3) 一連区間整備の完成等

江頭

質問；宇治川における用地買収，隠元橋架け替え，天ヶ瀬ダム再開発，鹿跳び，塔の島河道掘削は一体のものですか？

## (4) 土砂対策

大手委員(5.2.1(3)2)、5.3.1(1)3)

整備内容シート(第1稿)環境-18- ~ 環境-22- までの各河川で合計19箇所における記述の中で、

- ・現状の課題
- ・河川整備の方針
- ・具体的な整備内容
- ・検討内容

いずれの項目も皆同じ記述であるのは何故か。

とくに、現状の課題に関してはもう少し詳細に説明していただかないと、何をどうするのか判断のしようがない。

説明資料第2稿 5-3-1、(1)3)

流出遅延に関しても、当該地に対する流域に関する森林の状態・規模、その群落の状態等、開発地の位置と規模なども明記してほしい。

[理由]

- ・堰のために縦断方向の不連続を是正するのに、その流況は各地点において異なるはずで、これに土砂流送量をどう見積るかによって、改善した構造物に大いに影響をおよぼす。と考えられる。
- ・自然地の林況が改善できるかどうかによって保水機能が向上することも見越めるのではないか？人工林の分布が多い場合はその対象となる可能性は高い。

畚野委員(5.3.1(4))

流水阻害になる堆積土砂の浚渫

砂利採取計画に基づき砂利採取を継続実施

治水上は必要なことであるが、隣接部分の環境(横断方向の連続性)に悪影響の無いような工法・範囲で淀川本川で継続実施。

[注]本項は環境にも関連するので、環境・利用部会のご意見もお聞き願います。

江頭

土砂災害防止法との関連を記述する。さらに、計画規模の洪水時には山地が荒廃するのは確実であり、これは異常な土砂流出による洪水災害の拡大要因になるので、その評価法を検討することが重要。さらに、平時における土砂管理・・・

### 5.3.2 高潮

### 5.3.3 地震・津波

#### (1) 地震等総合的防災対策

#### (2) 河川管理施設の耐震対策

#### (3) 津波対策

### 5.3.4 地震・津波

#### 桝屋委員治水全般

1. 堰、揚・排水機場、樋門、水閘門、陸閘等の老朽化対策・保全...シート：治水 54
  - ・ 設備の機能と信頼性をどう維持していくか
  - ・ そのために、合理的にコストをかけていく補修のあり方はなにか  
例えば、部分補修のタイミングと全面取替え時期などをどう判断するか
  - ・ 各設備の設置時期、これまでの主な点検手入れ・保修の実績
  - ・ 点検、補修、劣化診断、経年劣化対策といった点についてマニュアルは整備されているか
2. 旧毛馬閘門・洗堰、三栖閘門・洗堰、南郷洗堰の保存...シート：治水 55...このシートの「現状の課題」は内容的におかしい。シート 54 に書くべきではないか
  - ・ 単に維持管理や保全を実施するだけでよいか
  - ・ 歴史的・文化的な価値のある設備の保存に関して考え方を明確にすべきではないか
  - ・ 例えば、積極的に公開するため保存館を作るといった考え方はないか
3. 淀川大堰予備ゲートの津波対策...シート：治水 56
  - ・ 通常時はどういう状態になっているか
  - ・ 津波の時にはどういう操作をするのか
  - ・ 何故予備ゲートで受けるのか
  - ・ 淀川大堰部分補修と全面取り替えをどう判断するか
4. 淀川大堰・毛馬水門・閘門の魚類遡上対策：環境 16、17
  - ・ 現魚道の課題は何か、魚類が遡上しやすい構造とは
  - ・ そのために、どのような魚道を考えているか
  - ・ 淀川大堰の流量については、神崎川、大川への流量との関係をどう考えるか
5. 市町村などの水防上必要な個所の改善指導...シート：治水 58
  - ・ 改善必要な個所はどこにどれだけあるのか、またその内容は
  - ・ 市町村などが改善するための予算措置などはどの程度可能か、補助の必要性は
6. 排水機場の運用...シート：治水 59
  - ・ 現状はどうなっているか、問題点は何か
  - ・ 調整協議会の体制
7. 河川管理施設の操作...シート：治水 65、51、48
  - ・ 河川管理施設の情報の確実な伝達・操作をどう担保するか
  - ・ 情報伝達システム・機器操作制御システムの信頼度確保は、そのための構成は
  - ・ 24 時間集中管理の体制はどうするのか。勤務・情報伝達・緊急時の召集など
8. 阪神電鉄西大阪線橋梁、淀川大橋、伝法大橋の改善...シート：治水 13
  - ・ 現状で高潮が起こった場合の危機管理はどうなっているか
  - ・ 改善方策と工事費、財源、実施時期、改善の主体、図面など
  - ・ 例えば、阪急の武庫川横断などは現在兵庫県が工事を行っている

- 9 . 芥川の改善...シート：治水 34
- ・ 現状、どこまで工事が進んでいるか、いつ完了するのか
  - ・ 改善前後では何がどう変わるのか
- 10 . 淀川陸閘操作時間の短縮...シート：治水 48
- ・ 現在の閉鎖時間 30 分は長いのか、何故時間を短くしなければならないのか
  - ・ 時間を短くするために何処をどうかえるのか
  - ・ 時間を短くして信頼性は十分保てるか
- 11 . 遊休設備の除却...シート：治水 57
- ・ 利用されていない橋梁・閘門はどれくらいあるのか
  - ・ 除却に伴って河川管理上影響ないかどうか、有効活用はできないか
- 12 . 流域内保水機能・貯留機能の強化...シート：治水 8
- 下記各項について、場所、機能、容量などはどうなっているか。具体的に示してほしい
- ・ 公共施設地下貯留機能施設機能の担保
  - ・ 民間管理施設の貯留機能の担保
  - ・ 既設調整池の機能の回復
- 12 . 緊急用河川敷道路の敷設...シート：治水 37
- ・ 完了目標時期は
  - ・ 連続的に通行できない区間は何処か、何故か
  - ・ この道路の管理をどう考えているか
- 13 . 緊急用船着場の整備...シート：治水 38
- ・ 海老江、柴島以外の地点の計画はどうなっているか
  - ・ 各船着場へのアクセス
  - ・ さらに有効活用の方策はないか
- 14 . 緊急船着場の機能維持、航路確保...シート：治水 39、40
- ・ 撤去した土砂の処分
  - ・ 日常的にどんな保守を行うのか
- 15 . 河川管理施設の耐震対策...シート：治水 41、42、43、44
- ・ 耐震対策の考え方...耐震対策の基準は、どの程度の地震を想定するのか
  - ・ 耐震補強としてどういうことを実施するのか
  - ・ 耐震補強を実施する場所、内容
- 16 . 津波のソフト対策...シート：治水 46、51
- ・ 津波来襲に伴う設備の操作体制
  - ・ 情報の連絡体制、設備の末端への浸透をどうするか
  - ・ 情報設備の整備、設置をどこまでおこなうのか
- 17 . 光ファイバの整備...シート：治水 1、65
- ・ 光ファイバーの設置はどこまで進んでいるか
  - ・ 光ファイバーで送る情報の内容は
  - ・ 光ファイバーのルートは 1 本だけか、二重化などは考えられているか

#### 5 . 4 利水

江頭 (全く個人的な願望)

A : 地球温暖化は確実に進んでおり、それにより降雨は時空間的に変動が大きくなっており、長期的には少雨化傾向になっていることが示されている。B : 独特の水文化。C : 水供給能力。

D：水需要管理の実現性．E：治水・環境 など総合的に判断した利水施策を進めてほしい．

## 5.5 利用

## 5.6 維持管理

### (1) 河川管理施設の機能保持

#### 1) 堤防・護岸

#### 2) 堤防・護岸以外の河川管理施設

### (2) 許可工作物の適正な管理

### (3) 河道内維持

#### 1) 樹木の伐採と管理

#### 2) 河道内土砂堆積等の管理

#### 3) 安全利用のための対応

#### 4) 河川内ゴミの処理及び不法投棄の防止対策

## 5.7 ダム

### 5.7.1 既設ダム

### 5.7.2 各ダムの調査検討内容

#### (1) 大戸川ダム

江頭 質問；琵琶湖の急速な水位低下

#### (2) 天ヶ瀬ダム再開発

#### (3) 川上ダム

#### (4) 丹生ダム

#### (5) 余野川ダム

江頭

(全般) 各ダムにおける環境(水質・流砂・河床変動)影響評価に関する記述が見あたらない

(全般) ダムが建設されない場合の治水・利水問題を解決するための代替案の検討が必要．